

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	新見市立矢神小学校	実践者名	山田和代・島村菜々子
教科	体育	学年	1～4年(合同)
活用内容	手本の提示 自分や友達の動作の確認 単元の振り返り	実践日	令和4年2月8日
		授業活用 段階(岡山県版)	Stage 1
単元・内容等	<p>「マット・跳び箱運動」</p> <p>マット・跳び箱運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、自己の能力に適した回転系や切り返し系・巧技系の基本的な技をすることができる。</p>		
活用の概要(目的・活用場面・使用アプリ名を含む)			
<p>(1) 教師の模範演技を見て、本時のめあてをつかむ。</p> <p>・めあてを電子黒板で写して全体で確認する。</p>			
			
			
<p>(2) 基本の技を練習する。</p> <p>・「はなまるフォーム*」や電子黒板を活用し、自分や友達の動きを確認しながら練習する。</p>			
			
<p>(3) 単元のまとめとして、児童の技をビデオで撮影し、個人のタブレットで個々に自分の画像を見ながら振り返りカードに記入する。</p>			
			
			
実践者の手ごたえ		児童生徒・保護者等の主な反応や声	
<p>自分や友達の動きをその都度確認しながら次の練習に取り組んだ。映像をスローで確認することもできたため、動作の細部の改善点に気付いたりや「もっと上手になりたい」という意欲へとつなげたりすることができた。個々の演技をクラウドにアップし、振り返らせたことで、振り返りにも活用できた</p>		<p>(児童から)</p> <p>「倒立前転のときに、先まで足が伸びていなかったから足先まで伸ばして倒立前転をしたい。」「簡単な技でも、とてもきれいにできている人がいた。」「腰を高くして、手のつく位置を考えたい。」</p>	

*はなまるフォーム https://www.procon.gr.jp/wp-content/uploads/2016/10/25_tobashosenjiyuu.pdf
自身のフォームを動画で撮影し視聴するアプリ。動画の遅延再生や、上級者を見本として撮影し、画面上でその動きを自分の動きと重ね合わせること等も可能。